

第29回 郡山シティーマラソン大会

KORIYAMA CITY MARATHON

令和4年
2022.4.29 曜日の日
金



感染症予防対策マニュアル

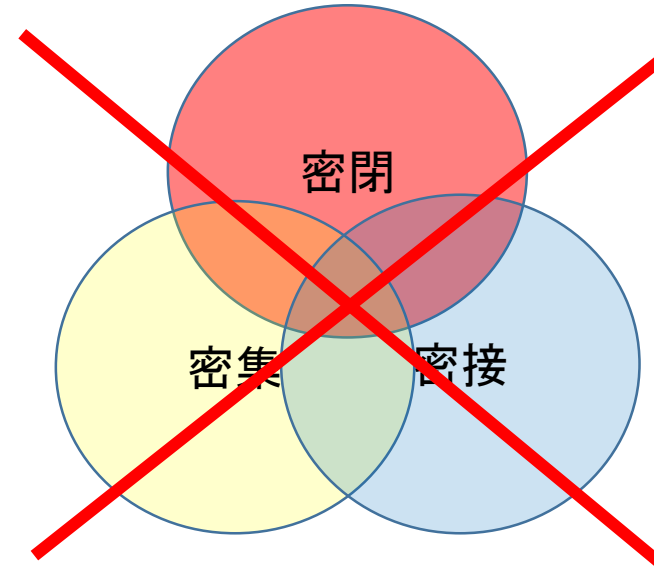


2022.4.19 郡山シティーマラソン大会実行委員会作成

1. 基本的な感染症対策

3つの密を回避する

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 人が密集している
- ③ 近距離での会話や発生が行われる



① 唾を吐かない

② 身体的接触を避ける

③ 大声を出さない。
話す際は
他人と距離をとる

④ 競技中以外は
マスク着用

⑤ 可能な限り
お互いの距離をとる

⑥ タオル、ペットボトル、
コップなどの共用NG

1. 基本的な感染症対策

開会式、閉会式、表彰式
行わない

スタート
ウェーブスタートによる混雑解消
※ウェーブスタートとは時間差をつけてスタートする方法。

入場・受付
・会場の拡大(空間の確保)
・一方通行の動線
・配付物の事前発送

フィニッシュ
・退場までの動線の延長(空間の確保)
・完走証のWEB発行

給水場
非接触型対応(各自でピックアップ)

観戦
沿道での応援**自粛**

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の利用推奨

2. 感染症対策 ～ランナー編～

(1) 大会当日まで

① 毎日、健康状態をチェックしてください。



② 健康チェックアプリをダウンロードし、大会1週間前から記録してください。
(または、健康チェックシートに記録してください。)



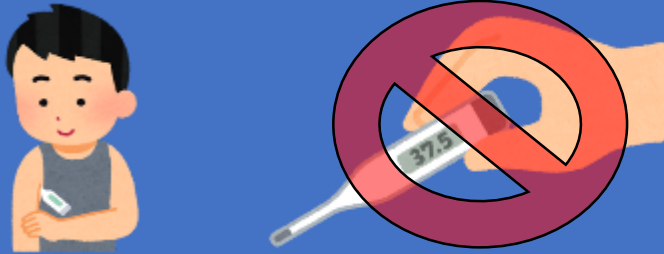
以下の場合には大会へ参加しないでください

- ・大会3週間前から新型コロナウイルス感染症にかかった場合
- ・大会2週間前から新型コロナウイルス感染症と疑われる症状を発症した場合
- ・大会2週間前から濃厚接触者と認められた、または、海外から帰国し大会当日時点で健康観察期間中である場合
- ・健康チェックアプリの項目のうち一つでも該当のある場合

2. 感染症対策 ～ランナー編～

(2) 大会当日の流れ(4月29日)

①会場に来る前に健康状態をチェックし、チェックアプリもしくはチェックシートに記録してください。
37.5℃以上ある場合は参加を自粛してください。



②受付でチェックアプリもしくはチェックシートを提示してください。

※提示できない場合、入力漏れや間違いがあるなど内容に不備がある場合は大会に参加できません。



③会場内に設置する消毒液をこまめに利用してください。



④ほかの人との距離を保つよう心がけてください。



2. 感染症対策 ～ランナー編～

(3) スタート ～ 走行中 ～ フィニッシュ

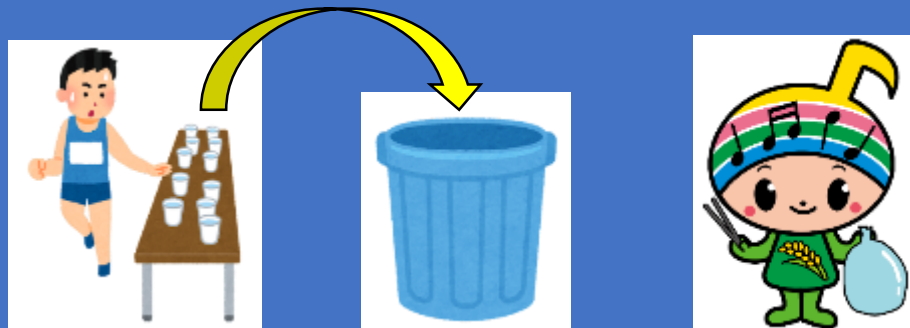
① スタートライン付近までは正しいマスクの着用を徹底してください。



② 走行中はマスクを外してもOKです。
ただし、マスクは捨てずに携帯してください。



③ 給水コップは必ずゴミ箱に！
そのほかのゴミは持ち帰りましょう。



④ ほかのランナーとの間隔を確保してください。



2. 感染症対策 ～ランナー編～

(3) スタート ～ 走行中 ～ フィニッシュ

⑤ トイレを使用する前後は手指の消毒をしてください



⑥ フィニッシュ後はスタッフにより手指の消毒をします。



⑦ フィニッシュしたらマスクを着けてください。



⑧ 走り終わったら、寄り道せずにまっすぐ帰宅してください。



2. 感染症対策 ～ランナー編～

(4) 大会後2週間

①大会後も毎日、健康状態をチェックしてください。



②健康チェックアプリもしくは健康チェックシートに記録してください。(提出する必要はありません。)



③大会後2週間の間に、新型コロナウイルス感染症への感染が分かった場合は、**すぐに主催者に連絡してください。**



感染発覚



連絡先(大会実行委員会事務局):024-924-3441

3. 感染症対策 ～シャトルバス編～

シャトルバス乗降時

①正しいマスクの着用をお願いします。



②乗車待ち時など、他の人との距離を保つよう心がけてください。



③乗車前後に手指の消毒をお願いします。



④降車後は、固まらず速やかに移動してください。



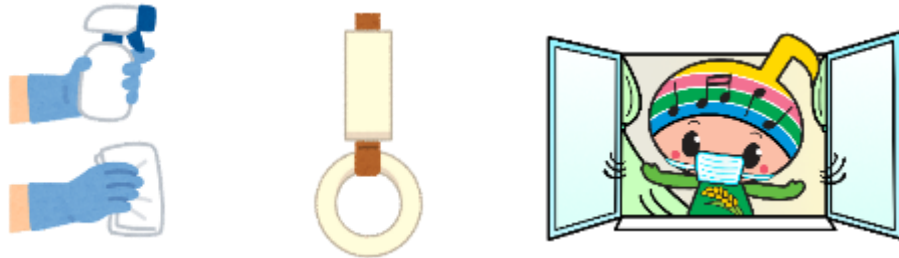
3. 感染症対策 ～シャトルバス編～

(1) シャトルバス車内

- ・保有する全車両の車内に無光触媒を使用した「抗菌・抗ウイルスコーティング」を施工します。
- ・光を必要としないため、暗所においてもウイルスを不活性化する効果が期待されます。
- ・施工済の車両には、ステッカーが乗降口付近に表示されています。



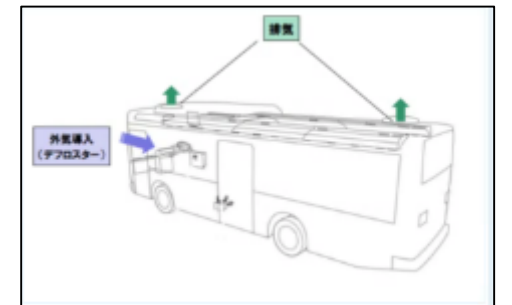
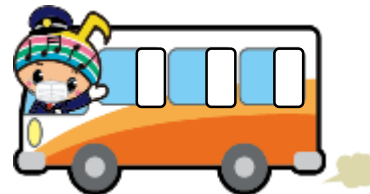
(2) シャトルバス(運行前後)



- ・つり革・手すり・座席シートなどに、次亜塩素酸水を散布します。
- ・起点、終点において、乗降扉を開閉し車内換気を行います。

シャトルバス(運行中)

- ・運行中においては、換気扇により常時車内空気の入れ替えを行うとともに、窓開け走行による車内換気を行います。



4. 感染症対策 ～大会スタッフ編～

(1)大会前

①毎日、健康状態をチェックします。



②健康チェックシートに、大会1週間前から記録します。



以下の場合には大会へ従事できないものとします

- ・大会3週間前から新型コロナウイルス感染症にかかった場合。
- ・大会2週間前から新型コロナウイルス感染症と疑われる症状を発症した場合。
- ・大会2週間前から濃厚接触者と認められた、または、海外から帰国し大会当日時点で健康観察期間中である場合。
- ・健康チェックシートの項目のうち一つでも該当のある場合。

4. 感染症対策 ～大会スタッフ編～

(2) 大会当日の流れ(4月29日)

- ①会場に来る前に健康状態をチェックし、チェックシートに記録します。
37.5℃以上ある場合は大会への従事はできません。



- ②スタッフの受付でチェックシートを提出します。
※提示をしない場合、入力漏れや間違いがあるなど内容に不備がある場合は大会に従事できません。



- ③消毒液により手指をこまめに消毒します。



- ④ほかの人との距離を保つよう心がけます。



4. 感染症対策 ～大会スタッフ編～

(3) スタッフとして活動中

①正しいマスクの着用と定期的な手洗い・手指消毒を徹底します。



②緊急時を除きランナーへの接触や大声での声掛けは控えます。



③ランナーへの応援やボランティア同士のコミュニケーションは、大声ではなくジェスチャーで！



④休憩中などマスクを外す場面では会話を控えます。



4. 感染症対策 ～大会スタッフ編～

(3) スタッフとして活動中

⑤ ゴミを拾うときは手袋を着用します。使った手袋は所定の場所に廃棄し、手指の消毒をします。



⑥ ランナーからのゴミは直接受け取りません。



⑦ 新型コロナ感染疑いの方を対応する場合、マスク、フェイスシールド、手袋、防護具を着用します。



⑧ 大会が終了したら、まっすぐ帰宅します。



4. 感染症対策 ～大会スタッフ編～

(4) 大会後2週間

①大会後も毎日、健康状態をチェックします。



②各自、健康チェックシートに記録します。



③大会後2週間の間に、新型コロナウイルス感染症への感染が分かった場合は、**すぐに主催者に連絡します。**



感染発覚



連絡先(大会実行委員会事務局):024-924-3441